

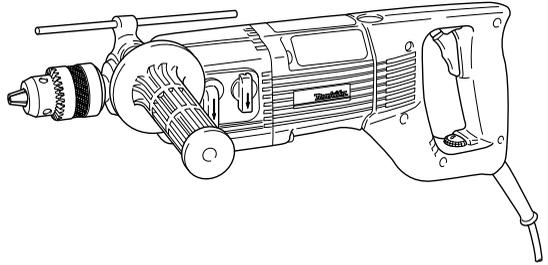
Makita

取扱説明書

ダイヤコア震動ドリル

回 モデル **8406C**

(無段変速・2スピード)



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。

マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**ダイヤコア震動ドリル**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

主要機能		モデル	8406C	
電動機		直巻整流子電動機		
電圧		単相交流 100V		
電流		11A		
周波数		50-60Hz		
消費電力		1,050W		
回転数		高速：1,800～4,000min ⁻¹ （回転/分） 低速：900～2,000min ⁻¹ （回転/分）		
打撃数		高速：28,800～64,000min ⁻¹ （回/分） 低速：14,400～32,000min ⁻¹ （回/分）		
穴あけ能力		コンクリート	ダイヤモンド コアビット	高速：不可 低速：φ120mm
			超硬ドリル	高速・低速：φ20mm
		鉄工	高速 φ6.5mm	低速：φ13mm
		木工	高速 φ18mm	低速：φ30mm
ドリルチャック能力		φ2～13mm		
長さ		455mm		
質量		4.5kg		
振動3軸 合成値	振動ドリルモード	11.0m/s ²		
	ドリルモード (ダイヤモンドコアビット使用)	6.5m/s ²		
	ドリルモード	3.5m/s ²		

- ・ 振動3軸合成値は、EN60745-2-1規格に基づき測定。
- ・ 振動3軸合成値についての詳細はJEMA [(社)日本電機工業会] ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html> をご参照ください。
- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-18

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡してください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近付けないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近付けないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

9. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音用保護具を着用してください。
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。
13. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

震動ドリル安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、震動ドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB002-3

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用中は、振り回されないよう本機を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、ビットなどの工具類や回転部、切りクズなどの排出物に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
7. 石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときには、飛散防止対策や防じん対策をしてください。

⚠ 注意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業時はヘルメット、安全靴を着用してください。
4. 作業直後のビットや切りクズは大変熱くなっていますので、触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
6. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 細径ドリルは折れやすいので注意してください。
 - ・ 飛散して、けがの恐れがあります。

注

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

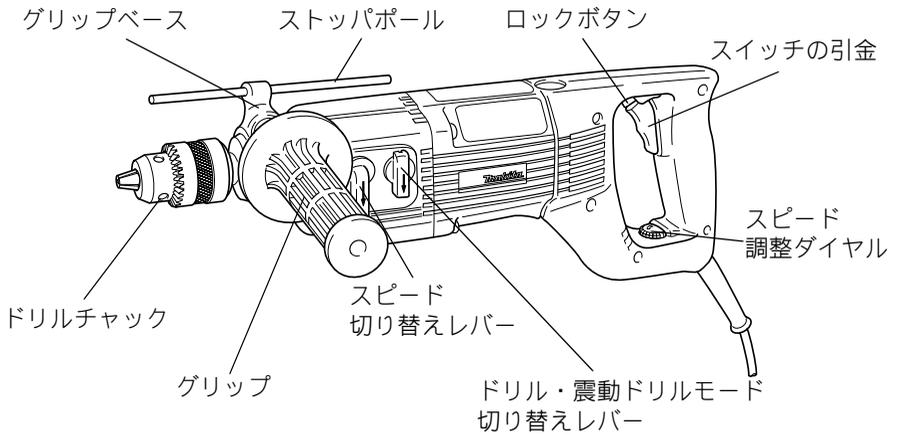
使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 7A	—
0.75mm ²	20m	10m	—

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
1.25mm ²	30m	15m	10m
2.0mm ²	50m	30m	20m

- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ チャックキー S13 (本機取り付け)
- ・ キーホルダ 12 (本機取り付け)
- ・ プラスチックケース
- ・ ストッパポール ・ カバー (防水用)

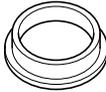
別販売品のご紹介

- 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

ダイヤモンドコアビットセット品

湿式用

- ダイヤモンドコアビット
- ガイドリング



- スポンジ

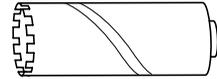


- 粘着シート (20枚入)



乾式用

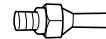
- ダイヤモンドコアビット



- センタースティック



- コアビットシャンク



湿式用

外径 (mm)	セット品 (穴あけ深さ 180mm) ダイヤモンドコアビット・ スポンジ・ ガイドリング・ 粘着シート 20枚	セット品 (穴あけ深さ 240mm) ダイヤモンドコアビット・ スポンジ・ ガイドリング・ 粘着シート 20枚	ダイヤモンドコアビット (穴あけ深さ 180mm) +スポンジ	ガイドリング	スポンジ	粘着シート (10枚)
	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号
32	A-27078	A-12619	A-27165	A-27349	A-27252	A-27436
38	A-27084	A-12625	A-27171	A-27355	A-27268	A-27442
45	A-27090	—	A-27187	A-27361	A-27274	A-27458
54	A-27109	A-12631	A-27193	A-27377	A-27280	A-27464
65	A-27115	A-12647	A-27202	A-27383	A-27296	A-27470
70	A-27121	A-12653	A-27218	A-27399	A-27305	A-27486
80	A-27137	A-12669	A-27224	A-27408	A-27311	A-27492
105	A-27143	A-12675	A-27230	A-27414	A-27327	A-27501
120	A-27159	A-12681	A-27246	A-27420	A-27333	A-27517

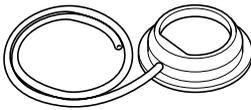
別販売品のご紹介

乾式用

外径 (mm)	セット品 (穴あけ深さ 165mm)	単品／ダイヤモンド コアビット
	部品番号	部品番号
32	A-12859	A-13166
38	A-12865	A-13172
54	A-12871	A-13188
65	A-12887	A-13194
70	A-12893	A-13203
80	A-12902	A-13219
90	A-12918	A-13225
105	A-12924	A-13231
120	A-12930	A-13247

水処理パッドセット品

部品番号 191772-9



- ・ 超硬ドリル



- ・ セーフティゴーグル
(保護メガネ)



- ・ 漏電しゃ断機
部品番号 A-06242

使い方

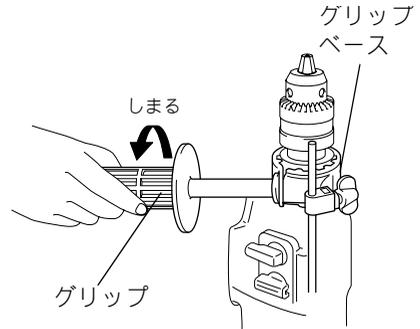
グリップの取り付け方

⚠ 警告

グリップは必ず取り付け、本機を両手で確実に保持して作業してください。

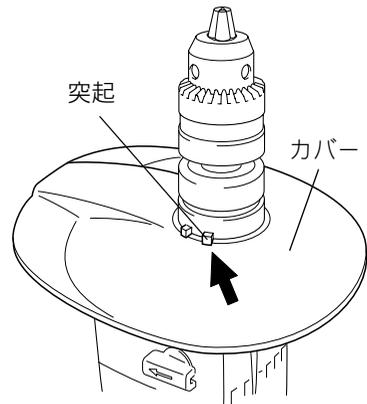
- ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。

- ・ グリップは、30度とびの位置で取り付けできるようになっています。位置を変える時は、グリップを左に回してゆるめ、グリップベースを少し抜き出し、グリップベースを回してください。
- ・ 取り付け位置を決めたら、ハウジングの突起とグリップベースの溝を合わせて挿入しグリップを右に回してしっかり固定してください。



カバーの取り付け方

- ・ 湿式用ダイヤモンドコアビットをご使用の際は、カバーを取り付けてください。
- ・ グリップベースをはずしてください。カバーをハウジングの突起とカバーの溝を合わせて挿入してください。グリップベース、グリップを取り付けてしっかり固定してください。



使い方

ダイヤモンドコアビットまたはキリの取り付け・取りはずし方

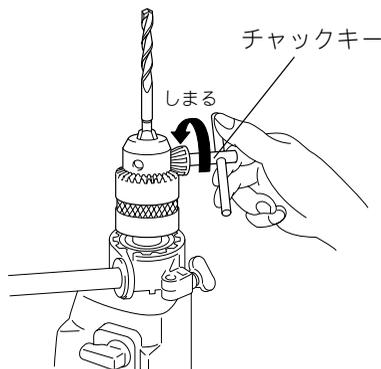
⚠ 警告

ダイヤモンドコアビットまたはキリの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

取り付け方

- ・ ドリルチャックの3カ所の穴のうち1カ所の穴にチャックキーを差し込み、左へ回しますとドリルチャックの先端のツメが開きます。ダイヤモンドコアビットまたはキリを差し込み、図のように右方向に回して締め付けてください。この際、1カ所だけをチャックキーで締め付けず、3カ所を均等に締め付けてください。



取りはずし方

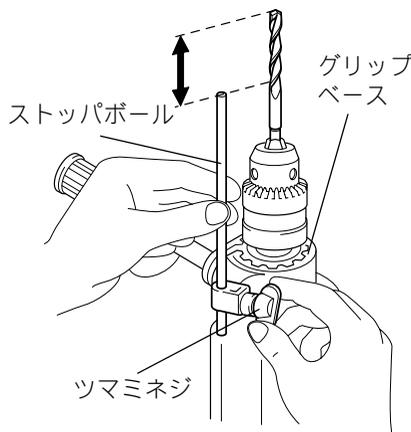
- ・ 取り付け方の逆の要領で行なってください。

注

- ・ チャックキーは所定の位置に正しく取り付けてください。

ストッパポール

- ・ 同じ深さの穴をたくさんあけたいときにお使いになると便利です。ストッパポールをグリップのホルダ部にある穴に差し込んでください。お望みの長さに調整した後、ツマミネジを締めて固定してください。



使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。
- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金を引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても固定され連続運転します。停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。

トルクリミッタについて

- ・ トルクリミッタ付きですので、ダイヤモンドコアビットまたはキリに所定のトルクがかかると、トルクリミッタが作動し、ダイヤモンドコアビットまたはキリにモーターの回転が伝わらない構造になっています。

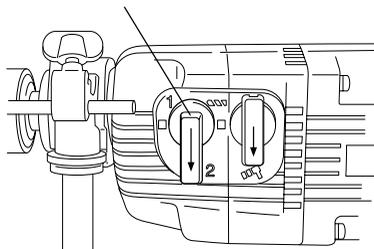
注

- ・ トルクリミッタが作動したときは作動時間を 2 秒以内にとどめてください。
- ・ トルクリミッタは頻繁に作動させないでください。

スピード切り替えレバーの操作

- ・ 回転数および打撃数はスピード切り替えレバーを回すことによって 2 段階に切り替えができます。
- ・ スピード切り替えレバーを「1」に回すと低速になり、「2」に回すと高速になります。

スピード切り替えレバー



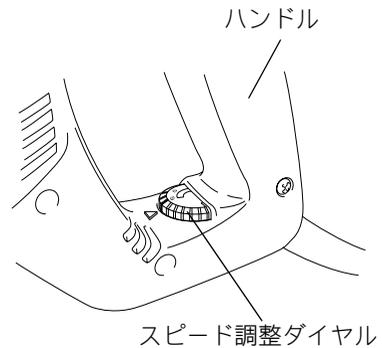
注

- ・ 切り替えレバーは確実にシフトしてください。中間の位置で使用されると故障の原因となります。

使い方

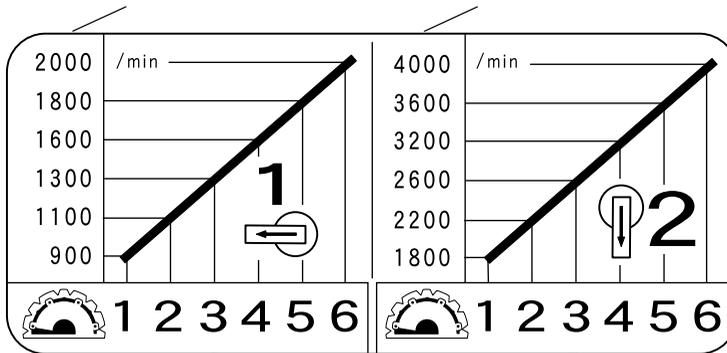
スピード調整ダイヤルの操作

- ・ スピード調整ダイヤルを回すことにより、下表の範囲で回転数が変わります。打撃数も回転数の変化にもなってかわります。
- ・ ダイヤル表示は1～6までであり、数字が大きくなるに従って回転は速く、打撃は多くなります。



スピード切り替えレバー「1」の時の
回転数（毎分）

スピード切り替えレバー「2」の時の
回転数（毎分）



スピード調整ダイヤルの数値

使い方

- 下表を参考にして、材料、ドリルの種類、キリの径に合った回転数を選定してください。

材料		ドリルの種類	ドリル径 (mm)	スピード切り替えレバー  1						スピード切り替えレバー  2					
				1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
コンクリート	ダイヤモンド コアビット	32													
		65													
	120														
レンガ	超硬ドリル	8													
		14													
		20													
鉄 鋼	鉄エキリ	6.5													
		13													
アルミ	鉄エキリ	6.5													
		13													
木 材	木エキリ	18													
		30													

※

注

- ※ ・ スピード切り替えレバー「2」でダイヤモンドコアビットおよびホールソーは使用できません。使用しますと、故障の原因となります。
- ・ コンクリート、レンガは次のことも回転数選定の参考にしてください。

材料	硬い⇔柔らかい
回転数	低い⇔高い

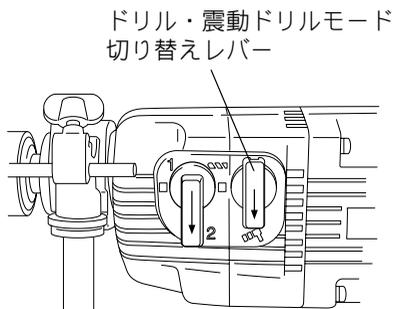
注

- ・ スピード調整ダイヤルは1より下には回しません。また6より上にも回しません。無理に回しますと故障の原因となりますので、スピード調整ダイヤルは必ず、1→2→3…6、6→5→4…1の順に回してください。
- ・ ダイヤモンドコアビットおよびホールソーによる穴あけは、スピード切り替えレバー「1」を使用してください。

使い方

ドリル・震動ドリルモード切り替えレバーの操作

- ・ 「回転のみ」(ドリルモード) で使用される時は、 マーク側に切り替えレバーを回してください。
- ・ 「回転+打撃」(震動ドリルモード) で使用される時は、 マーク側に切り替えレバーを回してください。



注

- ・ 切り替えレバーは確実にシフトしてください。中間の位置で使用されますと故障の原因となります。

ダイヤモンドコアビットについて

- ・ ダイヤモンドコアビットによる穴あけは、ドリル・震動ドリルモード切り替えレバーを  の位置に合わせて「回転」のみで使用してください。
- ・ ダイヤモンドコアビットは材料の種類や状態によって性能が変化します。
- ・ 石材など硬い材料に穴あけしたときは、切れ味が低下することがあります。このような場合はコンクリートブロックや使用済みのWA 砥石など、組織の粗い材料に穴あけし、刃先のドレッシング (目出し) をしてください。
- ・ コンクリートブロックや打ち込み後の日数が浅いコンクリートなどに穴あけしたときは、ダイヤモンドコアビットの寿命が短くなります。
- ・ 湿式用ダイヤモンドコアビット使用後は良く水洗いし、水分をふきとり、スポンジ、ガイドリングとともに乾燥した場所に保管してください。

注

- ・ 「回転+打撃」によって穴あけすると刃先の欠け、異常磨耗でダイヤモンドコアビットの寿命が短くなります。

使い方

湿式用ダイヤモンドコアビットによる穴あけ方法

⚠ 警告

必ず労働安全規則や電気設備の技術基準などに規定された、感電防止用漏電しゃ断装置の設置された電源で使用してください。

無い場合は、マキタ純正漏電しゃ断器を使用してください。本機は作業者を感電事故より守るため、二重絶縁構造を施してありますが、より安全を期すために、必ずゴム長靴、ゴム手袋を着用してください。

・ 漏電した場合、感電事故の原因になります。

注水方法

- ・ ダイヤモンドコアビットの刃先を上に向け、ダイヤモンドコアビット内に半分程注水します。水分を絞ったスポンジを銚のある方を上にして奥までゆっくり挿入してください。

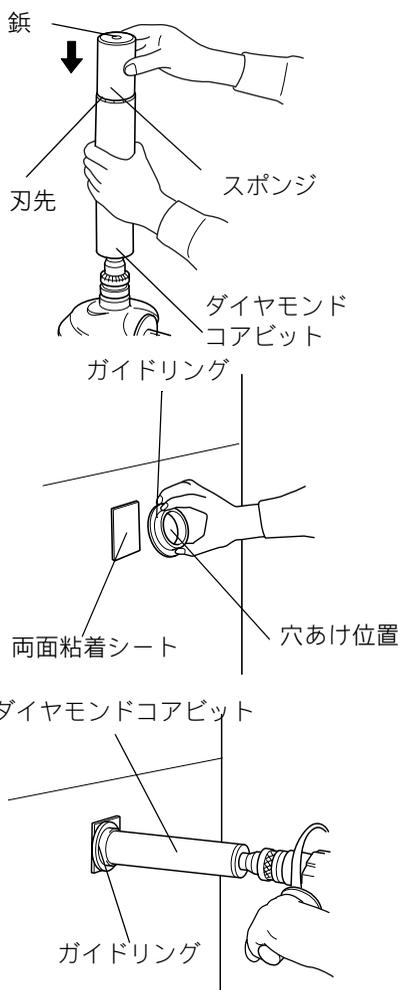
注

- ・ 本機に水がかからないように十分注意してください。

位置決め

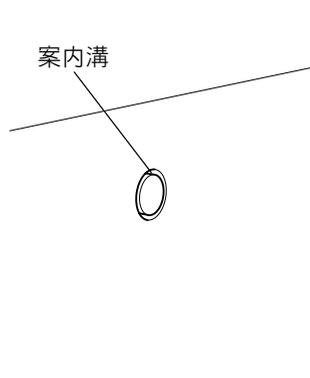
- ・ 穴あけ箇所およびガイドリングの水分、汚れなどをふきとってください。
- ・ 穴あけ箇所に両面粘着シートを張り、その上にガイドリングを取り付けてください。

- ・ ダイヤモンドコアビットをガイドリングの中にあてがい本機を運転し、案内溝を作ってください。



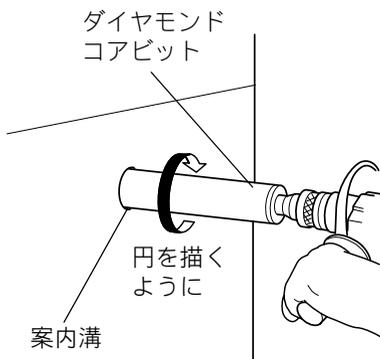
使い方

- 案内溝ができましたら本機を一旦止めてガイドリングおよび外側の粘着シートを取りはずしてください。



穴あけ作業

- 案内溝にダイヤモンドコアビットをあてがいスイッチを入れるとともに本機を心もち（2～3度）傾けゆっくり円を描くように動かしながら穴あけしてください。
- 穴の深さが深くなるにしたがって本機の傾き具合を少なくし、貫通前には傾きをなくします。
- 穴が貫通しましたら、スイッチを切り本機が停止してから、ダイヤモンドコアビットを抜いてください。



注

- 穴あけ作業中は、穴あけ溝から絶えず水が流れ出ているのを確認してください。
- 水の出方が少なくなったときは、本機を少し引き戻し、再び押し込むと水の出方が良くなります。この操作をしても水の出方が少ない場合はただちに補給してください。
- 穴あけ途中で水を補給したときは、ダイヤモンドコアビットが最深部にとどいてからスイッチを入れ穴あけ作業をしてください。

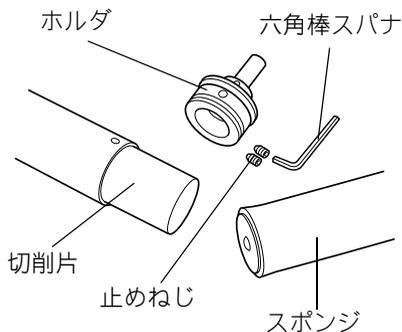
使い方

切削片の取り出し方

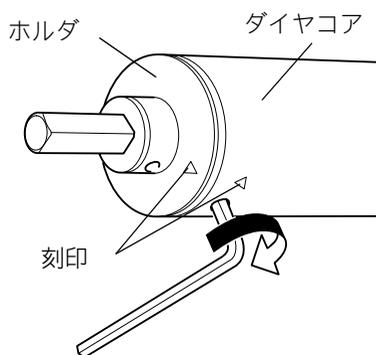
- ・ ダイヤモンドコアビット内に残った切削片は刃先側より取り出してください。



- ・ 切削片の取り出しが困難な場合は、付属の六角棒レンチで止めネジをはずし、ホルダを抜き取り、スポンジといっしょに取り出してください。



- ・ ホルダをダイヤコアに取り付けるときは、ホルダとダイヤコアの刻印を合わせて止めネジを締め付けてください。



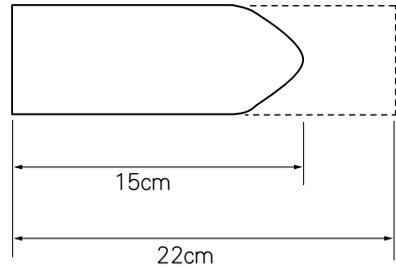
注

- ・ 切削片の取り出す際、ネジ回しなどでこじたり、刃先をたいたたりしないでください。
- ・ ダイヤコアを变形させたり、ホルダの O リングを傷つけないようにしてください。

使い方

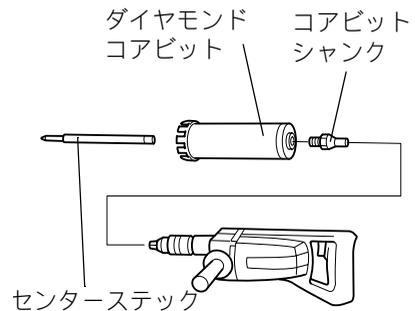
スポンジの交換

- ・ スポンジは 15cm 位になりましたら交換してください。



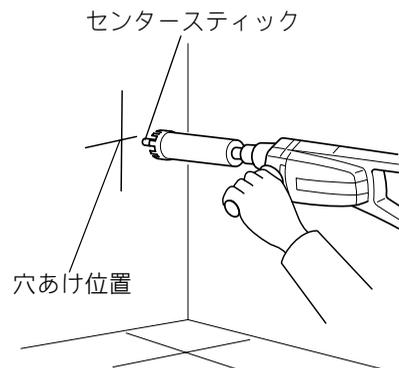
乾式用ダイヤモンドコアビットによる穴あけ方法

- ・ コアビットシャंक、ダイヤモンドコアビットおよびセンタースティックを組み付けてください。



位置決め

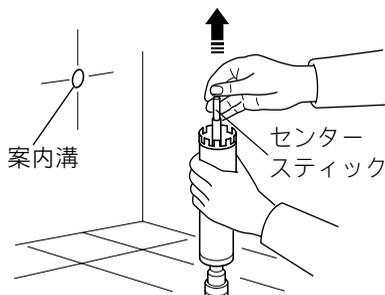
- ・ センタースティックを穴あけ位置に合わせ、本機のスイッチを入れて 3～5mm 深さの案内溝をあけてください。



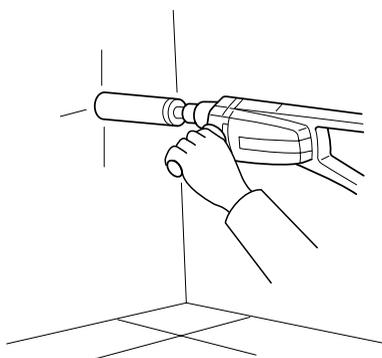
使い方

穴あけ作業

- ・ センタースティックを引き抜き、ダイヤモンドコアビットを案内溝に当てがい本機を真直に押し込んで穴あけしてください。この場合、本機を強く押し過ぎないように注意してください。

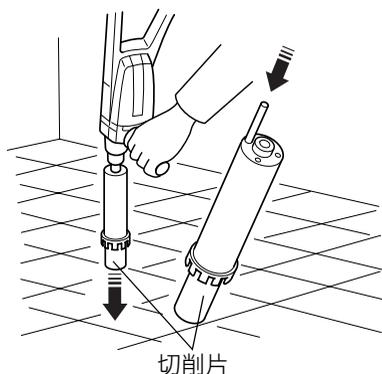


- ・ 穴あけ途中で鉄筋、異物にあたったときや穴がもう少しで貫通する状態になりましたら押す力を弱めてください。



切削片の取り出し方

- ・ ダイヤモンドコアビット内に残った切削片は、ダイヤモンドコアビットを下向きにして取り出してください。取り出しが困難な場合は、コアビットシャंक側の穴から適当な棒を入れて押し出してください。



注

- ・ 湿った材料や下向きに穴あけした場合、切り屑の排出が悪くなる場合があります。このような場合は集じん機を併用してください。

使い方

穴あけ方法

⚠ 警告

穴の抜けぎわは、キリが折れたり、本機に大きな力がかかり振り回される恐れがあります。穴の抜けぎわを確認しながら慎重に作業してください。

- ・ けがの原因になります。

震動ドリルとして使用する場合

- ・ コンクリートなどの石材に穴あけされる場合は、チェンジレバーを「回転 + 打撃」にしてください。
なお、ドリルは超硬ドリルを使用してください。
- ・ 深い穴で粉塵がつまる時は、超硬ドリルを回転しながら 2～3 回、穴より出し入れさせて、粉塵を排出してください。

ドリルとして使用する場合

- ・ 金属や木材に穴あけされる場合は、チェンジレバーを「回転」のみにしてください。
- ・ 金属に穴をあける場合は、穴をあけたい位置にセンタポンチでクボミをつくり、そのクボミにキリの先をあてがえば、キリの先がすべらず正確な位置に穴あけができます。穴あけ時には、キリに油（マシン油など）をつけて作業してください。

注

- ・ 本機を無理に押しつけて作業しないでください。作業能率が低下するばかりでなく、本機の寿命も短くなります。

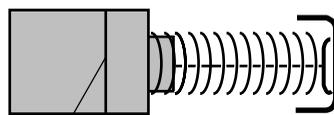
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

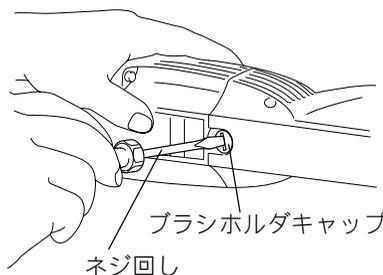
カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩擦線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



限界摩擦線

- ・ ネジ回してブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行なってください。



ネジ回し

保守・点検について

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	東京支店	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6746) 7220
札幌営業所	(011) (783) 8141	東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪営業所	(06) (6746) 7220
旭川営業所	(0166) (29) 0960	中野営業所	(03) (3337) 8431	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
釧路営業所	(0154) (37) 4849	足立営業所	(03) (3899) 5855	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
函館営業所	(0138) (49) 9273	大田営業所	(03) (3763) 7553	奈良営業所	(0742) (61) 6484
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	橿原営業所	(0744) (22) 2061
帯広営業所	(0155) (36) 3833	多摩営業所	(042) (384) 8411	和歌山営業所	(073) (471) 4585
北見営業所	(0157) (26) 9011	立川営業所	(042) (542) 1201	田辺営業所	(0739) (25) 1027
				沖繩営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	横浜支店	(045) (472) 4711	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	横浜営業所	(045) (472) 4711	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	川崎営業所	(044) (811) 6167	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	平塚営業所	(0463) (54) 3914	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	相模原営業所	(042) (757) 2501	姫路営業所	(079) (281) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	湘南営業所	(0466) (87) 4001		
水沢営業所	(0197) (22) 5101	静岡支店	(054) (281) 1555	広島支店	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	静岡営業所	(054) (281) 1555	広島営業所	(082) (293) 2231
いわき営業所	(0246) (23) 6061	沼津営業所	(055) (923) 7811	福山営業所	(084) (923) 0960
福島営業所	(0243) (22) 1204	浜松営業所	(053) (464) 3016	三原営業所	(0848) (64) 4850
		甲府営業所	(055) (276) 7212	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢支店	(076) (249) 5701	宇部営業所	(0836) (31) 4345
新潟営業所	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	徳山営業所	(0834) (21) 5583
長岡営業所	(0258) (30) 5530	七尾営業所	(0767) (52) 3533	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
山形営業所	(023) (643) 5225	富山営業所	(076) (451) 6260	松江営業所	(0852) (21) 0538
酒田営業所	(0234) (26) 3551	高岡営業所	(0766) (21) 3177	高松支店	(087) (867) 6411
秋田営業所	(018) (863) 5205	福井営業所	(0776) (25) 1911	高松営業所	(087) (867) 6411
				徳島営業所	(088) (626) 0555
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜支店	(058) (274) 1315	松山営業所	(089) (951) 7666
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
小山営業所	(0285) (25) 5559	多治見営業所	(0572) (22) 4921	高知営業所	(088) (884) 7811
水戸営業所	(029) (248) 2033	松本営業所	(0263) (85) 4751		
土浦営業所	(029) (821) 6086	長野営業所	(026) (225) 1022	福岡支店	(092) (411) 9201
		上田営業所	(0268) (22) 6362	福岡営業所	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (777) 4801	飯田営業所	(0265) (24) 1636	北九州営業所	(093) (551) 3481
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋支店	(052) (419) 0561	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
川越営業所	(049) (222) 2512	名古屋営業所	(052) (419) 0561	久留米営業所	(0942) (43) 2441
熊谷営業所	(048) (521) 4647	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
越谷営業所	(048) (976) 6155	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
前橋営業所	(027) (232) 5575	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
高崎営業所	(027) (365) 3688	一宮営業所	(0586) (75) 5382		
向毛営業所	(0276) (46) 7661	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	熊本支店	(096) (389) 4300
		津市営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	四日市営業所	(059) (351) 0727	八代営業所	(0965) (43) 1000
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	大分営業所	(097) (567) 3320
市川営業所	(047) (328) 1554			宮崎営業所	(0985) (26) 1236
成田営業所	(0476) (73) 8101	京都支店	(075) (621) 1135	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
木更津営業所	(0438) (23) 2908	京都営業所	(075) (621) 1135	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
柏営業所	(04) (7175) 0411	福知山営業所	(0773) (23) 7733		
		大津営業所	(077) (545) 5594	関東物流センター	(048) (771) 3451
		彦根営業所	(0749) (22) 6184	関西物流センター	(0725) (46) 6715

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881625F7